

～地域と共に ころ豊かに たくましく～



# 西紀つこだより

令和2年度 第3号(5月号②) 令和2年 5月28日発行

丹波篠山市立西紀小学校 丹波篠山市乗竹650

TEL 593-0024 FAX 593-0249

ホームページ <http://nishiki-el.sasayama.jp/>



## みんな スしぼり!!



日々刻々と動きがある情勢の中、いよいよ6月1日の学校再開が近づきました。

5月25日の登校日には、様々な様子の子どもが見られました。

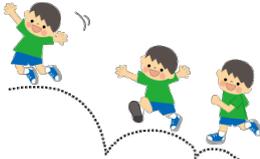
うれしくてたまらない様子の子、久しぶりの教室に緊張している子、運動場で走り回って息の上がつている子、いよいよ学校…にうれしさ半分・不安半分の様子にも見えました。

先日、ホームページにアップした丹波篠山市教育委員会からの再開についてのお知らせも、配布しております。大きくは、以下の4点がありましたが、西紀小の取組方針をお知らせします。

- ① 再開後2週間は、配慮をしながら通常の学校生活に近づける
- ② 夏休みは8月8日(土)～8月23日(日)
- ③ プール水泳は今年度中止
- ④ 運動会、学習発表会等の行事は、感染状況や学校の実態に沿って工夫して実施



### ◇ 西紀小は急がず、再開後2週間は配慮をしながら通常の学校生活に近づけます



先日配布しましたように、1日からの1週間は段階的に学校生活を取り戻す1週間にします。1日目：学校再開 → 2日目：給食 → 3日目：そうじ → 4日目：5時間授業 → …そして5日目は「1週間毎日よくがんばった」と自信を持つ日にしたいと考えています。また1週目はすべて全校終会です。

3ヶ月のブランクは、私たち大人の予想以上の、また一人一人違う形で影響が現れるものと考えています。想定外のことも起こるかもしれません。2週目は、1週目の様子を見ながら検討します。

本日、「**学校再開プラン**」を配布しました。2週間は、このプランにより学校生活を進めます。

プランの冒頭に掲げた方針「安全・安心な学校にするため全力で取り組む」は前提として、

**「先生も、子どもも、おうちの方もみんな」が全力で取り組む** ことがあります。

毎日の健康チェックやマスク・タオル・給食当番のマイエプロンに至るまで、ご家庭にも「全力」でのお取り組みをお願いします。

丹波篠山市は文部科学省ガイドラインによる「レベル1」での教育活動になっています。このプランも、市のガイドライン等を参考にしながら随時更新します。そして、「コロナウィルスと共に生きていく新しい生活様式」の感染症対策に移行していきます。



### ◇ 1学期の終わりは8月7日(金)になります。暑さが心配です・・・

授業時数確保のため、大きく変更されました。

誰も経験したことのない7月下旬～8月上旬の登下校・学校生活になります。各教室にエアコンが整備されましたが、一歩出ると「熱中症」を警戒しなくてはなりません。

また、下校頃のゲリラ豪雨も気がかりです。そのため「**引き渡し**」での**下校**も繰り返しお願いすることになるのではと考えています。

引き渡し訓練を6月25日(木)に計画しております。お迎えをご家族でご相談いただくだけでなく、地区内の保護者様の連携もどうぞよろしくお願いいたします。



# それも大切な「勉強」です

臨時休校期間中は、子ども達にたくさんの課題を渡しました。

3月から断続的に続いていた臨時休校期間でしたので、3ヶ月間、子ども達は家庭で学習をしていました。学校から配布した課題は、3月は復習中心でしたが、次第に高学年、中学年と予習を含んだ課題が出されるようになりました。



「まだ習ってへんからわからへん…」というお子さんのつぶやきがあったかもしれません。



今までの家庭学習は、学校の授業で学んだことを復習する内容でした。「もう知っている漢字や計算を正しくできるように練習する」ということです。しかし、これからの時代は機器を使いこなし、多くの情報から必要なことを見つけ出し、自分で解決していく時代です。解決する方法を身につけることも「勉強」なのです。できないことを後回しにして、できることを選択して取り組むことも一つの手段です。

保護者の皆様には、臨時休校中にお子様のつぶやきに応え、分かるように教えていただいたご苦労があったと思います。ありがとうございました。お子様は「分からない時は分かる人に聞く」という方法が身についたことでしょう。一生懸命誠実に取り組むことに加えて、分からないときに調べたり聞いたりして何とかしようとすることも、大切な「勉強」だったと思います。

学校再開後は、一人一人の状況を受け止め、必要に応じて補習もしながら、無理なく教室での学習と家庭学習を「学びの両輪」として進めていきます。また、予習したから…と、どんどん先に進んでいくような授業はしませんので、ご安心ください。子どもの生活が落ち着いてきたら、必要に応じて放課後学習も進めていきます。

今後の宿題についても、解決の方法がさらに増えていくようお願い、復習と予習（自主学習）をバランスよく出しながら、様々な解決方法（インターネットを使った学習等）も身につくように進めていきます。

決まった正解はありませんが、きっと一人一人に応じた解決方法があります。

お子様を一番よくご存じの保護者の皆様と学校で、これからの時代を生きぬく子どもを育てていきましょう！



## 「コロナごっこ」をご存じですか？

子ども達が3ヶ月ぶりに行う学校での集団生活にあたり、西紀小学校では「心のケア」もていねいに行っていこうと考えています。

コロナウィルスが蔓延し、世界中が不自由で不安な状況に陥りました。ふり返ると、ウィルスも恐ろしいですが、私たち社会は、それによる不安・恐怖に振り回されがちです。子ども達は、そんな社会情勢や大人の様子をしっかりと感じ取っています。

新聞やニュース等で子どもの「コロナごっこ」を知りました。おなかが痛い子や咳をした子に「コロナにかかったんじゃない？」と言ったり、「コロナだぞう～」と追いかけたり…「コロナごっこ」は「トラウマ遊び」と呼ばれる反応で、**自分でコントロールできる遊びの中で繰り返すことで、恐怖から逃れようとする心理の表れ**と解釈できるそうです。一見、不謹慎な遊びですが、子どもの不安の表れでもあります。頭ごなしに叱ったり、やめさせたりするよりも、その行動に潜む子どもの思いを受け止めたり安心させてやる必要があります。



しかし、同時に感染者・医療従事者・エッセンシャルワーカーの偏見や差別がないように啓発指導することを、西紀小学校では心のケアの第1に掲げています。正しい理解や行動が一人一人の人を守ると考えます。

大人も平静ではいられない状況ではありますが、誰かの不幸の上に幸せはありません。

子ども達・保護者のみなさんと一緒に、私たちが今の不安に向き合っていきたいと思います。

お子さんの些細な変化でも、お聞かせください。